

令和5年度理事会・年次総会

令和5年度東大阪市公衆衛生協力会理事会・総会が7月5日（水）若江岩田駅前市民プラザにおいて、多数の理事・代議員出席の下に開催され、今年度の公衆衛生活動をさらに進めていくことが満場一致で承認されました。

まず、年次総会に先がけて理事会が開催され、冒頭平松会長がコロナ発生により公衆衛生をとりまく社会状況の中、様々な形で公衆衛生活動を行っていた会員の皆様に対して謝辞の言葉を述べられました。

理事会の議案としては、新役員体制案及び会費組織割のみの徴収運用をはじめとした諸案件が原案のとおり採択され、新会長には枚岡医師会の五島会長が選出されました。

続いて開催されました年次総会において、はじめに五島新会長が「コロナはまだまだ油断できませんが、今年度の事業予定の HANAZONO EXPO で開催予定の健康フェスタや食中毒予防キャンペーン、薬物乱用防止キャンペーン等今年度も創意工夫をしながら公衆衛生活動を皆さんと共に進めていきたい。」と開会の挨拶がありました。

次に来賓の野田市長より「感染症の危機が日本においても起こりうるものなのだということを改めて認識し、公衆衛生の役割が自治体においても重要な課題であると思っている。会員の皆様にはコロナ禍のもと献身のご尽力を賜りましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。」旨の祝辞があり、続いて松尾市議会議長からも「様々な啓発活動を通じて市民の皆様の健康維持などの活動をいただいていることに心から敬意を表しています。」のご挨拶がありました。

議案審議につきましては、五島会長の議長選任後、令和4年度事業報告と決算報告及び令和5年度事業予定案及び予算案が満場一致で承認されました。

